

雪氷写真館⑥ 天山山脈の小雪泥流/Small slush flow in the Tianshan Mountains



写真 1. 小さな雪泥流の跡 (撮影 : 2006 年 1 月 19 日 9 時頃, 現地時刻)



写真 2. (左) 小雪泥流が見られた斜面。
当日は快晴で山頂付近には強い日
射が当たっている

写真 3. (下) 道路上に流れてきた小雪泥流



天山山脈の小雪泥流

雪崩調査のために、東西に連なる天山山脈の下を通る R218 を車で走っているとき、斜面に真っ黒な筋が見られた (図 1)。車を停めてよく見ると小さな雪泥流の跡で、通行の障害になるほどではなかった (写真 1)。同じ場所を前日の夕方に通過したときには見られなかったことから、当日 2006 年 1 月 19 日の朝に発生したものである。痕跡を見た限りでは、最初に大きな流れがあって、それが道路に勢いよく飛び出し、その後、小さい流れがしばらく続いたようである。この小雪泥流は、南向きの斜面にあった浅い積雪が強い日射にさらされて部分的に融解し、流下したものと推定される (写真 2)。堆積物は真っ黒で、雪と水と細かな土の混合物であった。なお、南向きの斜面は強い日射のために土壌が乾燥し樹木がほとんど育たない (写真 3)。このため、雪崩のほとんどは南向き斜面で発生するが、この小雪泥流も過去の小雪崩によりできたデブリの上を流れている。このような現象がみられることは天山山脈にも春が近づきつつあることを表しているようである。

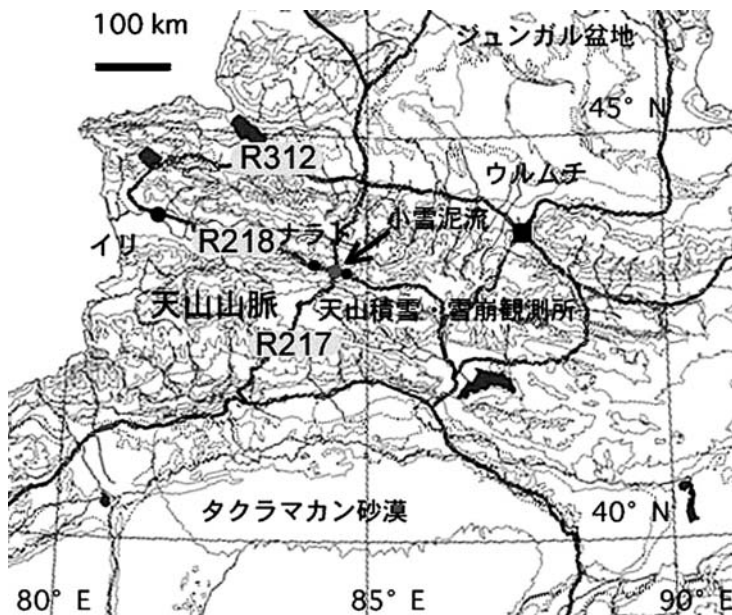


図 1. 小雪泥流が見られた場所 (矢印)

R218 上で R217 との交差点から東側へ数 km の地点。

天山積雪・雪崩観測所は中国科学院新疆生態地理研究所の所属。

阿部 修 会員 (防災科学技術研究所雪氷防災研究センター)